

# 救助

中央特別高度救助隊

佐々木 成人隊長



危機に直面したとき、

あきらめずに待っていてほしい。

必ず救い出してみせるから



災害や事故が起きたときに、現場の最前線で人の命を救う救助隊。その中でも、厳しい研修課程を経て選抜されるのが「特別高度救助隊」だ。佐々木さんはその隊の隊長として9人の部下を率いている。

過酷な救助の現場では「ロープ一本に命を預けることもある」という。数年前の冬、高校生がスキートの途中でコース外に滑落し、崖の中腹で動けなくなる事故があった。雪崩が起きる危険がある中、佐々木さんら救助隊は、命綱を

携えて慎重に近づき、7時間掛けて高校生を救い出した。

職務中は常に緊張感が付きまとう。取材中にも出動要請があった。現場に急行する一幕があった。幸い、火災感知器の誤作動であったが、出動時の表情は鬼気迫るものがあつた。

助けを求める人がいれば、そこに向かうのが救助隊の役割だ。3月中旬には東日本大震災で津波の被害を受けた宮城県へ赴き、生存者を捜索した。「辺り一面がれきの山。燃料や魚の死骸の臭いが入り混じっていた。戦争は経験していないが、戦場の跡とはこういうものかもしれないと感じた」と佐々木さん。生存者の救助には至らなかったが、札幌でも今以上の準備をすべき、という気持ちを持つたという。「同規模の災害は札幌でも起こり得る。万が一、皆さんが危機に遭遇したときには、決してあきらめずに、近くの人と手を取り合つて救助を待つてほしい。生きてさえいてくれれば、絶対に救い出してみせるから」。佐々木さんのその言葉に迷いはない。



東日本大震災の被災現場。がれきの山を乗り越え、救助活動を行う ▶

## INFORMATION

### 災害時に地域で支え合う仕組みをつくりませんか

災害時に、障がいのある方や高齢者などの「移動に支援が必要な人」と「支援できる人」をあらかじめ把握して組み合わせ、一緒に避難する仕組みを整えている地域が増えています。また、町内会などで「防災マップ」を作成し、危険箇所の情報を住民同士で共有している地域もあります。突然の災害に備え、皆さんも地域の支援体制や避難場所などを確認してみてもいいかがでしょうか。

〔詳細〕保健福祉局総務課 ☎211-2932  
防災マップについては危機管理対策課 ☎211-3062

## DATA

平成22年 市内での救助出動回数 **1,094回**

出動人員の総数は、延べ32,036人。火災や交通事故のほか、山での遭難、水難、崖崩れなど、出動内容は多岐にわたる。